

# ほんべつ 議会だより

No.72

平成27年2月1日発行



## わたしたちのつくったお米です

12月12日 JA青年部の農業体験（勇足小学校）

# 第4回定例会

## 福祉灯油事業（地域づくり総合交付金）に係る補正予算等を可決

平成26年第4回定例会は12月3日に開会し、一般質問のほか一般会計他7会計の補正予算、とかち広域消防事務組合の設立についてなどを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

### とかち広域消防事務組合の設立

平成28年4月（予定）に、十勝19市町村で、とかち広域消防事務組合を設立し、消防に関する事務を共同で処理するため、法の定めにより議会の議決が必要なため設立の規約が提案されました。

これに対し反対、賛成の討論があり、主な要旨は次のとおりです。

#### 反対討論 大住啓一

消防団の団員の皆さん全てに、まだ説明が十分にかつ丁寧に行われていないのではと考えます。（広域派遣

#### 賛成討論 高橋利勝

（による）職員2人減など、組織体制に不安もあり、時期がまだまだ早い気がしますが、町民の皆さんも熟慮する時間があるべきと思いますので、提案には反対です。

これまで、議員協議会で何度か理事者から説明を受け、疑問点は幾度となく議論をし、答弁の中で一定の払拭ができたところです。町民や消防団への説明不足との声は、真摯に受け止め、今後実行していくことによつて、十分にスタートできると思いますので提案には賛成です。

#### 採決の結果

賛成者9人、反対者2人で可決しました。

## 一般会計補正

### 町有林事業

**問** 苗木の確保が困難なため、町有林事業を、平成27年度へ先送りするということだが、来年度の苗木の確保の見通しは。

**答** 近年の気象の変動が激しいため、なかなか2号苗の確保が難しい状況ですが、今年度中から苗木業者に直接連絡をとりながら、確保に努めます。

### 高校生への給食

**問** 給食を希望する生徒数と、一食当たりの給食費は。

**答** 1、2年生で98人中79人の80.6%が希望をしています。給食費は、牛乳代を除き光熱水費19円の負担を含め、255円に設定しています。



給食センター調理室

### 平成26年傍聴者数

	男	女	計
第1回定例会	27	10	37
(内ナイター議会)	(16)	(9)	(25)
第2回定例会	9	15	24
第3回定例会	17	0	17
第4回定例会	11	2	13
小計	64	27	91
第1回臨時会	3	0	3
第2回臨時会	2	0	2
第3回臨時会	2	0	2
第4回臨時会	3	0	3
第5回臨時会	1	0	1
小計	11	0	11
議会運営委員会	0	0	0
総務常任委員会	0	0	0
産業厚生常任委員会	0	0	0
小計	0	0	0
予算審査特別委員会	1	0	1
決算審査特別委員会	2	0	2
議員協議会	4	0	4
町民懇談会	61	14	75
小計	68	14	82
合計	143	41	184

**3月定例会は3日から  
ナイター議会は10日に  
予定しています**

私たちの住むまちの議会です  
どなたも自由に傍聴できます  
あなたも傍聴してみませんか

平成26年度 各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(287万6千円)	ふるさと納税記念品代 個性あるふるさとづくり基金積立金 (臨時会)
	(4,010万4千円) 67億1,306万5千円	地方バス路線運行維持対策費 福祉灯油事業 帯広厚生病院運営費補助 後期高齢者医療療養給付費(H25年度精算確定)、企業誘致奨励事業補助金 池北三町行政事務組合本別分(消防緊急無線デジタル化整備事業及び高機能指令センター整備事業の増額分) (定例会)
特別会計	(△88万2千円) 13億3,780万6千円	健康管理センター屋根改修工事費確定による減
	(45万7千円) 8億9,129万1千円	国庫及び道介護給付費H23年度再確定による精算分
	(20万円)	加湿器21台、体位変換パッド5個、パルスオキシメーター1台(寄付金) (臨時会)
水道事業会計	(△71万4千円) 2億7,255万6千円	人事異動と執行見込みに伴う人件費減 (定例会)
	(△987万2千円) 1億403万5千円	簡易水道配水管移設調査設計委託料、美里別簡易水道水道管移設工事費事業確定による減
公共下水道	(△102万円) 5億4,026万1千円	浄化槽新設工事等事業確定による減
水道事業会計	(△469万2千円) 2億8,803万5千円	町道山手朝日通り配水管移設工事事業確定による減
病院事業会計	(220万円)	医療施設等整備基金積立(指定寄付金) (臨時会)
	(△3,686万3千円) 15億2,760万5千円	薬品費、診療材料費減 小児科医師出張医謝礼金減 (定例会)

※第5回臨時会含む

公平委員会委員に

**大和田 和盛 氏**

(美里別西上)

**矢野 邦夫 氏**

(勇足元町)

**新津 直子 氏**

(向陽町)

を同意

平成26年12月31日に任期満了となる公平委員会委員の再任に同意しました。

**議会の傍聴にお越しください**

議場前のスペースを、傍聴の方が気軽に休憩していただけるような場所にいたしました。是非、一度傍聴にお越しください。

**第5回臨時会**

開催日 11月25日

**条例改正**

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

平成26年12月期末手当

2.05月↓2.2月

平成27年6月期末手当

1.9月↓1.975月

平成27年12月期末手当

2.2月↓2.125月

人事院の勧告に伴い、職員の勤勉手当並びに特別職の期末手当の改定が行われ、同様に議員の期末手当も改正するため提案しました。提案に対し反対、賛成の討論がありました。主要な旨は次のとおりです。

**反対討論 大住啓一**

4月から消費税が上がったことや、農業関係の所得問題、商店街の人口減の影響等、このように大変な状況の時に、町民の皆さんに報告をしないで議員の手当を上げるのは、町民の皆さん

んの目線に立っていません。懇談会等で説明をしてから、進めていくべきと考えますので、条例改正には反対です。

**賛成討論 高橋利勝**

期末手当は、今日まで人事院勧告に伴い、職員、特別職に準じて状況に応じ引き下げ、引き上げをしてきました。また、議員の定数が減り、一人一人の担う役割や活動日数がふえており、今回の引き上げについては、活動の対価として適切だと思います。

町民の皆さんの生活が大変厳しいことの要因は、明らかに社会問題であり、政治を担っている私たち議員が問題を解決していくことが生活向上につながるのです。私たちがその努力をすることによって、理解されると信じ、条例改正に賛成します。

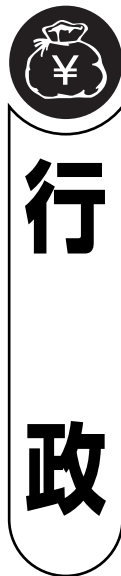
**採決の結果**

賛成者9人、反対者2人で可決しました。

**第5回臨時会**

# 一般質問

7名の議員から11問



## 新電力会社との契約で経費節減の検討を

**答** 新電力との契約 十二分に検討に値する



阿保静夫議員

**阿保議員** 北海道電力の電気料金が平成25年に引き続き、再値上げされ、27年、さらにアップする予定です。なお、太陽光発電の運用が始まる給食センターを除く平成26年度分の電気料金値上げに対応す

る補正予算額は、全会計で約285万円位だと思えます。仮に新電力契約されると約2%の電気料節減になるとのことです。

町財政上、少しでも経費削減になるのなら、新電力会社との契約について検討することも必要ではと考えますが。

**高橋町長** 27年度から、電気料金再値上げで、25年度対比1,500万円程度の増と予想します。省力化と合わせ、新電力の活用を含め、十二分に検討に値するという方向性になっていきます。

**阿保議員** 緊急時の心配についても北電は、「供給する義務がある」とのことですが。

**高橋町長** 電気供給の信頼関係がきちんと構築されるならしっかり検討します。

## 男女共同参画推進条例や基本計画の策定を

**答** 条例・計画は策定せず、総合計画の中で具体化



小笠原良美議員

**小笠原議員** 国が男女共同参画社会基本法を制定して15年が経過しました。男性も女性も、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いながら、個性や能力を発揮できる社会づくりを更に進めるべきだと思いますが、以下について伺います。

①本町でも男女共同参画社会推進条例や基本計画の策定に取り組むべきだと思いますが考え方は。

②第6次本別町総合計画（平成22年～32年）の中に、女性に対する支援機能の充実、女性委員等の積極的な登用とありますが、現在までの具体的な取り組み、今後の取り組み予定は。

**高橋町長** ①現時点では条例の制定や単独の基本計画を策定せず、総合計画の中でより具体化しながら進めていきたいと考えております。

②教育委員会、健康管理センター、子育て支援センターが連携して家庭教育・支援事業などにより、男女共同による子育ての大切さなどを学んでいただいております。平成26年度の各種審議会委員への女性の登用は530人中160人となっており比率にして約30%です。



緑町の変電所



女性も加わって行革の会議



# 福祉・暮らし

## 難病への対策と考え方について

**答** 相談窓口は、健康管理センターと総合ケアセンターで対応します



大住啓一議員

いとの声があることから、現在使われていない公共施設や、民間の建物などの再利用を積極的に進めるべきと思います

また、難病の方々の組織づくりを進める上で、相談する役場の窓口はどこになりますか。

**大住議員** 本別町においては、現在約80名の方々が難病と向き合っているものと認識しています。難病患者の皆さんにとって住みよい社会は、高齢者の方にも障がい者の方にも

子どもたちにも全ての人たちにとって住みよい社会です。本別町においても、難病患者の皆さんから交流の場を設けてほし

総合ケアセンター



**高橋町長** 難病の方々には、新たな法律の理念のもと地域住民と一体に自発的に行う事業に対して応援していきます。有志の方でサークルをつくるなり、少し整理いただいて保健所を含めて相談させていただきたいと考えます。

難病の方の窓口は、病気の関連で健康管理センター、認定関係で総合ケアセンターです。連携を取り合い対応します。

## 第6期介護保険事業計画の介護保険料はどうなるのか

**答** 利用増により引き上げが必要と考えています



高橋利勝議員

を考える必要はないか。

**高橋町長** ①高齢化率は、平成29年には39.7%、認定率18%超と推計しています。

②保険料の基準額は給付費が年々増加していくことから引き上げが必要と考えています。また、所得段階別保険料については国の動向をみて判断していきます。

③介護保険料についてはどこかを軽減すると、その分をどこかで負担しなければならぬため難しいです。

**高橋議員** 本年度は第6期介護保険事業計画の策定の年であり、平成27年度からの介護保険事業の見直しが行われていますが、以下3点について伺います。

①第6期の計画にあたっての、高齢化率、認定率の推計値はどのようになるか。

②第1号被保険者の保険料基準額はどのようになるのか。

また介護保険料は所得段階別保険料となっており所得によって軽減措置がとられているが、どのように考えているか。

③介護保険制度の改正によって1割負担から2割負担になる方がいますが、軽減措置



デイサービスでのコマ

ものしり博士から

産後ケアとは

出産後、心身の不調等で子育てに支障がある時、家族からの援助が受けられない時に、施設でのショートステイやデイケアの利用、ヘルパー派遣事業により、母子のケアが受けられる事業です。ケアは有料で、事前の登録が必要です。登録しておくことで、産後緊急時も安心して備えることができます。

また、妊婦の方の「出産時の陣痛や破水等」緊急の場合、事前に「妊婦エントリ－ネット119」の登録をしておく、自己または関係者で病院へ行く手段がない、救急車でしか搬送出来ない時には、迅速に救急車で搬送されます。



妊娠から出産、子育てまでの包括的支援について

答 安心して出産子育てできる体制の整備に努めます



藤田直美議員

藤田議員 近年、核家族化、高齢出産などにより、産後ケア

アや子育てに家族の支援が受けられない母親に充実したサービスが必要だと思えます。町長の考えを伺います。

① 妊婦相談、保健指導など現在の取り組みについて。

② 母子の孤立化を防止するため、家事や育児に関して援助する宿泊型や訪問型の産後ケアサービスを進めるべき。

③ 子供が病気になること仕事を持つ母親や父子家庭の大きな負担です。病児保育を行う考えはないか。

高橋町長

① 母子手帳交付時に保健師が家庭環境、健康状態を把握し、より安心して妊娠期間を過ごせるように努め

ています。

② 乳児家庭を全戸訪問し、すきやきたいなど、産後の家事育児の援助をしています。子育て支援センターなど既存施設の機能充実を図り、本町ならではの体制の整備に努めます。

③ 子どもの最善の利益が実現される社会を目指す考え方が基本です。

現在、子ども・子育て会議で検討しています。



中央保育所 いちご組 (0, 1 歳児)



農業

本町主要作物の“出来秋”と来年の対応は

答 小麦以外は平年作です

ビートの作付面積確保に努めます

大住議員 本町の主要作物のビート・小麦・豆類・ジャガイモの作柄は。

来年の営農を考えた時、酪農・畜産を含めた施策が必要で、基盤整備や耕畜連携の推進、更にはビートの作付面積の増を目指すべきです。又、新年度の農業予算は農業振興基金の活用も含めてどの様に考えていますか。更に、農協とタイアップして町独自の農業政策が必要と思えますが、考え方を伺います。

高橋町長

畑作4品の作柄ですが、小麦が平年を下回りましたが、ジャガイモ・豆類については平年作を確保し、ビートは収量が若干下回り、糖度は平年を上回っています。基盤整備の畑総事業が60パーセントの進捗で、堆肥の利用

などの耕畜連携が期待されます。ビートの作付面積の確保は関係機関と十分連絡をとり推進します。

来年度において、協議をした中で必要な予算はきちんと付けさせていただきます。

それには、戦略目的として農業団体の強い指導とか、営農計画もありますし、農業者の頑張る意識をもっていたことに對して、JAの皆さんと協議をしてお対応していきます。

この他に「有害鳥獣の被害状況と対策について」も質問しました。



本別農協会館

## 農業の振興と農家経営の安定について

**答** 農業団体から具体的な提案があれば全面的に協力、連携をとる



篠原義彦議員

**篠原議員** 今日の農業経営は酪農、畑作ともに肥料、資材の高騰により経営は厳しい状況です。町として対応策を講じるべきと思いますが。

家族経営の多い本町の酪農は、大規模化に伴いふえる労働を軽減するため、コントラクター



コントラクターによる牧草収穫

の充実、TMRセンター、哺育センター等の組織づくりの後押しをすべきと思います。畑作は農地の集積を進めるべきと考えますが、特に借地畑が基盤整備の大きな障害となつていきます。農業振興基金の活用も含め、コスト軽減をすべきでは。

**高橋町長** 搾乳する仕事は毎日休みのない仕事です。本町の産業ですので、しっかり支えることから農業団体が主体となつて計画が上がってきたものについては、全面的に協力させてもらいます。

基盤整備については、作況調査に行っても、できているところと、まだ進んでいないところの差が大きいのが実態です。誰の土地でも本町の大事な耕作地ですので、いろいろなメニューの事業を入れて、しっかり基盤整備を進め耕作放棄地が出ないようにします。

## 町民とともにTPP反対の行動を広げよう

**答** 今後もしっかりと取り組み、強力な体制を作りたい

**阿保議員** TPPの驚くべき本質が明らかになりつつあります。重ねてきた町民総ぐるみの行動のさらなる積み上げが必要だと考えます。

アメリカ農務省のTPP締結後の試算では（日本農業新聞11月13日）、TPP締結で参加国全体の農産物輸出額は85億ドル増え、その33%はアメリカで、日本のシェアはわずか1.4%とのこと。

一方、日本の農産物輸入は58億ドルで全体の約70%以上を占める。すなわち「日本の一人負け」です。あらためて農協はじめ町内各団体に呼び掛け、何らかの行動（集会、学習会等）を起こすべきと考えますが見解を伺います。

**高橋町長** 国は「5品目は守る」と言いますが、今は推進の方向です。

十勝30団体でも、また、本町としても、いち早くTPP反対の取り組みをしてきました。

今後もしっかりと取り組んでいくことも重要ですし、また強力な体制作りをしたいです。この他に、「特別支援学級児童・生徒の交流事業等への参加の門戸をより開こう」も質問しました。



TPP反対の垂れ幕（役場庁舎）



パーラーでの搾乳

①新たな地域の担手になる新規就労者の受け入れ体制の構築と支援策についての考え方は。

②近年施設を大型化する酪農家がふえてきています。大型化することによつ

**矢部議員** 酪農経営農家の搾乳中止、離農が続いています。減少する酪農家対策としての支援策について伺います。



矢部隆之議員

## 本町の酪農家に対する支援について 答 具体的な取り組みの際には、必要な支援策を講じる

て固定資産税が多額になってきていますが、低減措置についての考え方は。

③一戸一法人の形態から、複数戸の酪農家が業務の共同化を図るため複数法人化を希望しています。町としての支援策について。

**高橋町長** ①新規の就農者を含めた担い手の育成、確保対策は、関係機関と連携して取り組んでまいりたいと思っています。

②低減措置は難しく、政策的な農業展開とか、いろいろな産業育成などを含めて別な視点で考えています。

③具体的な取り組みの際には、必要な補助制度や支援策はしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

### 議会用語の解説

#### 《一問一答方式》

議場において一般質問を行うときの手法で、議員が一つの案件に対する質問を行い、その質問に対して、町長が答弁します。その答弁に対して再度質問、答弁という形式により、同一議員と町長の間で、その議員が納得するまで問答を繰り返すことをいいます。ただし、時間制限はありません。

#### 《会期》

議会又は議員の活動は、原則として定例会や臨時会の定められた期間（会期中）と正規の手続きを経て行われる期間中に限り活動できることになっていますが、定例会と臨時会に限って活動できる期間のことをいいます。会期は招集された初日に決定しますが、年4回ある定例会では、それぞれ10日〜20日間程度で、臨時会はほとんどが1日間に決定されます。

### 写真で見る議員活動

給食センター視察と試食会

11月25日



### 議会について ご意見をお寄せください

「ほんべつ議会だより」を見て議会に対する意見やご希望などどんな事でも結構です。どうぞ議会事務局までご連絡ください。

TEL 22-8123/FAX 22-2147



# 意見書

第4回定例会では3件の意見書が提出され原案可決されました。意見書の要旨は、次のとおりです。

## 【要旨掲載】

### 労働者保護ルール改正反対を求める意見書

労働者保護に関する議論がなされているが、労使双方の納得感とメリットを生む改革がなされることが重要。労働者派遣法の見直しは、労働者保護の後退を招くおそれがあり、改定にあたっては労働政策審議会において、十分な議論がなされた上で行われるべき。

提出者  
高橋利勝

### 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

公的年金は老後の生活保障の柱となつています。1.年金積立金は、被保険者の利益のために、運用を堅持すること。2.国内債券中心の運用から、株式等のリスクを高めるので行わないこと。3.確実に反映できるガバナンス体制を構築すること。

提出者  
黒山久男



安心・安全の医療・介護の実現、医療介護従事者の大幅増員と処遇改善を求める意見書

本年成立した「医療介護総合法」は、国の公的責任を地方自治体と住民に転嫁するものと言わざるをえません。よって国の責任として自治体、住民に負担をかけるない対策を講じるとともに、医師、看護師、介護職員を大幅に増やすことなどを求めます。

提出者

阿保静夫



## 行政報告

第4回定例会において、町長から行政報告がありました。(抜粋)

### 第4回定例会

#### 町長

### 土砂災害警戒区域等の指定

平成24年9月に第1次の警戒区域等の指定を受けてから、26年6月に第2次の、新たな8か所の基礎調査の結果通知がありました。11月28日に関係住民の皆さんを対象とした土砂災害警戒区域等指定に向けた住民説明会を開催しました。

対象地域は錦町、向陽町、東町、朝日町、チエトイの5自治会で、今後、自治会と協議しながら地域説明会を開催し、ご意見ご質問にお答えをし、特にレッドゾーンに掛かる方に対しては、時間をかけて丁寧な説明を行ってまいります。参加されなかった対象者の方には、会議資料、会議結果報告書を郵送します。

11月4日、市町村長会議において、「とかち広域消防事務組合規約(案)」について最終的な確認が行われたほか、「とかち広域消防局災害出動基本計画(案)」並びに「消防救急無線デジタル化整備」や「高性能指令センター整備」について確認されました。

### 十勝圏における消防広域化に向けた検討経過

今後、本町のほか18市町村の議会議決が整ったのち、予定では、27年5月頃に知事からの許可を見込み、広域消防事務組合を設立するとともに、併せて「広域消防準備室」を設置し、平成28年4月の運用開始に向け、準備を進める予定です。

「とかち広域消防局災害出動基本計画(案)」については、現行の出動区域を基本とし、現場到着時間の短縮となる直近署所からの出動を図りつつ、消防団との連携については現行どおり維持するとしています。本町においても、10自治会

が見直しされたところで、住民への周知は、本別消防団各分団幹部団員及び本別町自治会連合会役員会、対象となる自治会の一部に対して説明を終了しているところであり、今後も、対象となる自治会と日程を調整しながら順次説明会を開催し、町民の皆様には、町広報紙において周知を図ってまいります。

次に、平成28年4月の運用開始に向けた「消防救急無線デジタル化整備」及び「高性能指令センター整備」については、有利な国の緊急防災・減債事業債を活用しながら、今定例会において補正予算を提案し、繰越明許により平成27年度の工事を予定しています。



本別消防署

行政視察

総務常任委員会

調査日／平成26年10月14日～16日  
（剣淵町、土別市、和寒町）

1 剣淵町絵本の館の運営及び事業活動について

剣淵町新絵本の館は平成16年に新築され、職員は、館長（嘱託）、司書兼学芸員（正職員）、パート4人、業務協力員1人の7人体制で運営しています。

また、活動を支える体制として「けんぶち絵本の里を創ろう会」「けんぶち絵本の里づくり実行委員会（町内30団体）」があります。事業活動については絵本の館の活動を通じて農業、福祉、ボランティアなどの分野に広がっています。

また、絵本の館を通じて福祉（子育て、高齢者）、教育（子ども達への取り組み、学校との連携）施策が活発に取り組みされています。

主なイベントとしては「けんぶち絵本の里大賞」「けんぶち絵本まつり」が



剣淵町での研修

あります。

2 土別市朝日町あさひサンライズホールの事業運営と住民との関わりについて

あさひサンライズホールは平成6年に建設され、市教育委員会地域教育課が、他の文化施設、公民館などを兼ねて管理運営が行われています。職員は5人で課長が館長を兼務しています。

事業については、鑑賞型事業として、音楽、演劇はじめプロの公演を年間約10公演行っています。

また、住民と深く関わる参加型事業として学校アウトリーチ（出張公演）、教職員対象ワークショップ

（プロの指導による体験型学習）、演劇ワークショップ（市民参加の演劇公演）などが行われています。

3 和寒町読み聞かせボランティア（ポコ・ア・ポコ）の活動について

ポコ・ア・ポコ（少しずつゆつくりの意）は平成6年8月に図書館からの声かけにより、子育て中の母親や乳児教育の関係者などで結成されました。

主な活動内容は、定例読み聞かせ会、乳児の読み聞かせ、季節イベント、ブックスタートの事業への協力などを取り組んでいます。

まとめ

剣淵町の絵本の里によるまちづくり、土別市朝日町あさひサンライズホールの社会教育活動、和寒町の読み聞かせボランティアポコ・ア・ポコの活動は、いずれも長年に渡って活動が行われ、現在にいたっても活気に満ちています。その背景には、文化に対する理

解のもと行政と住民の協働のまちづくりが根づいているのではと思います。



土別市あさひサンライズホール

産業厚生常任委員会

調査日／平成26年11月17日～18日  
（釧路市）

○ 公共施設等の建て替えに関する取り組みについて

釧路市で取り組んでいる公有資産マネジメントは、施設再編や集約化、費用の平準化などを掲げ、最少の経費で最大の効果を得られるよう図るものです。

① 釧路市の現状の課題

平成42年には13万人と昭和56年のピーク時から45%

も減少する推計、生産年齢人口の減少等による歳入減、高齢化等による扶助費等の増加、公共施設への投資額の増など、人口、財政及び施設の課題を洗い出しています。

② 公共施設等の見直し指針

公共施設を利用用途（15分類）、利用圏域等によって評価及び分析を行っています。

※ポートフォリオとは、公共施設の「供給・財務」と「品質」に偏差値をつけ、継続・改善・廃止・見直しをわかりやすくラフ化したものです。



釧路市での研修

## まとめ

公共施設の老朽化に伴う改修等、既存の建物の活用などを検討しながら、老人ホームの改築（建て替え含む）等、マネジメントを参考に、今後、取り組んでいくことを望みます。

## ○障がい者福祉施設「ふわり」の取り組みについて

事業の内容は、生活介護事業、就労継続支援B型事業、日中一時支援（施設）、共同生活介護を行っています。

利用者は23人で、主に重度の障がい者（自閉症）で障害程度区分が平均5.3、1日の平均利用者は18.3人です。

生活介護事業では職員10人、パート調理員2人を配置しています。

## まとめ

職員の資質・技術の向上を図るため研修を重視し、高い専門知識を持った人材育成に力を入れています。

本町においても、今後、障がい者・障がい児の働く場や居住など、様々な相談ケースが増えてくる可能性があります。福祉の町にふさわしい対策がさらに望まれると思います。



障がい者施設「ふわり」



## 議会運営委員会

調査日／平成26年11月4～6日  
（むかわ町、沼田町、芽室町）

3町の議会改革・活性化の取り組み状況について研修してきました。

むかわ町では、「町づくり基本条例」の制定に向けて、公募を含む町民20人による「まちづくり委員会」

を平成22年8月に設置しました。メンバーには商・工・農業者などの若い人も加えて本音の意見が交わされ、平成24年12月に「むかわ町まちづくり基本条例」が制定されるまでに17回の委員会が開かれました。

むかわ町議会では、「むかわ町まちづくり基本条例」の制定後に、議会議員の具体的行動規範が必要との認識から、議会活性化の議論とともに9章18条で構成する「むかわ町議会基本条例」を平成25年12月定例会で可決、26年1月1日から施行しました。

沼田町議会は、他の町村議会と比べると一般質問を行う議員数が多く、定数10

名で議長を除く9名が一般質問を行うこともあります。

難しいことではなく、身近なことで「ピンポイント質問」を行うことが多く、一般質問は時間制限なしの3回方式で、質問時間は1問に対して15分程度で30分を超える質問はほとんどないそうです。

また、年1回小中学生による「子ども議会」を実施し、全議員が事前に学校を訪れて議会の仕組みなど出前授業を行い、子どもたちも議会傍聴を経た後に子ども議会に臨みます。

芽室町議会では平成25年4月に「議会基本条例」の制定、議会たよりの通年（毎月）発行、5月に通年議会制への移行、6月には議会諮問会議（報酬、定数、基本条例などの議論を行う）の設置、議会のインターネット配信、議会白書の作成・公表などに取り組んできました。

## まとめ

むかわ町議会では議会の政治倫理や議会活動につい

てを条文化し、要綱が定められていきます。また、沼田町議会が行っている子ども議会の取り組みは将来、議会に関心を持つ人の増加に繋がると思います。芽室町議会では、通年議会へ移行し、一年を通して会期中となり、いつでも委員会が開催できます。

本町議会でも取り入れることができることについては取り入れ、更なる議会改革・活性化を目指していかねければならないと感じました。



芽室町議会での研修



基幹産業を  
中心とした町づくりの  
より一層の努力を



佐川 満さん(活込)


一般質問の日は、いつも町なかの人の傍聴が多いのですが、今回は農業経営をしている活込の佐川満さんが見えていましたので、お話しを伺いました。20年前に傍聴されて今回で2回目だそうです。今回、傍聴しようと思っ

たのは、基幹産業の農業関係の質問と新人議員3人の質問があったからだそうです。今回、議会傍聴の感想を尋ねますと「現在、農業経営をしていて問題になっていることを質問してくれ

てよかったと思います」「町も前向きに農業団体と協力して解決に努めると答えてくれましたので安心しています」「これからの町づくりや、人口減や高齢化などの難しい時代になるけど基幹産業を中心とした町づくりには、より一層の努力をしてほしい」とのことでした。現在、佐川さんは、本別農協理事として活躍されています。息子さん夫婦に経営移譲し、現在70ヘクタールの耕作地に小麦、牧草、


## 議会日誌

〔 12 月 〕



- 3日 第4回定例会、議員協議会、  
議員会役員会
- 5日 議会運営委員会
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 本会議（一般質問、議案審議）、  
広報広聴常任委員会
- 16日 議会運営委員会
- 24日 池北三町行政事務組合定例会（足寄町）
- 26日 広報広聴常任委員会

〔 1 月 〕



- 9日 議会運営委員会
- 14日 広報広聴常任委員会
- 19日 広報広聴常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 23日 総務常任委員会所管事務調査
- 27日 産業厚生常任委員会所管事務調査

## 町民懇談会の 日程について

町民懇談会は、4月中旬～下旬の3日間で開催の予定をしています。

多くの町民の皆様の参加をお待ちしています。